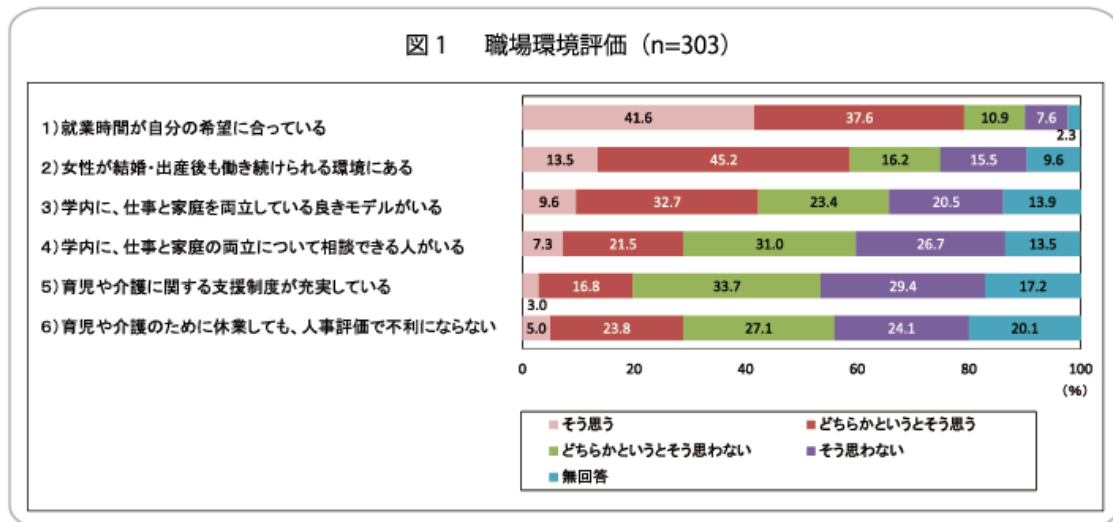


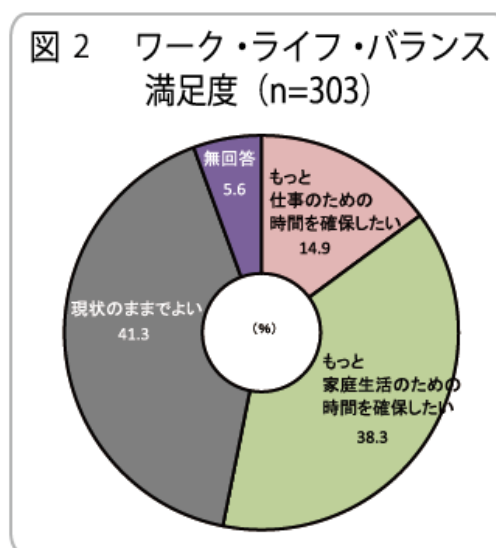
「ワーク・ライフ・バランスに関するニーズ調査」結果報告のまとめ

(1) 現在の職場環境について

職場環境評価では、「就業時間が自分の希望に合っている」、「女性が結婚・出産後も働き続けられる環境にある」については、全体としては5割以上が「そう思う」もしくは「どちらかというと思う」と回答していますが、「仕事と家庭を両立している良きモデルがいる」、「仕事と家庭の両立について相談できる人がいる」、「育児や介護に関する支援制度が充実している」、「育児や介護のために休業しても、人事評価で不利にならない」に関しては、「どちらかというと思わない」もしくは「そう思わない」とする回答が5割から6割を占めています。



ワーク・ライフ・バランスの満足度では、男性では「現状のままでよい」との評価が多いのに対し、女性では「現状のままでよい」との回答は低くなっています。教職員別にみると、教員 (n=165) で、「もっと仕事のための時間を確保したい」(20.0%) という声が多くなっています。

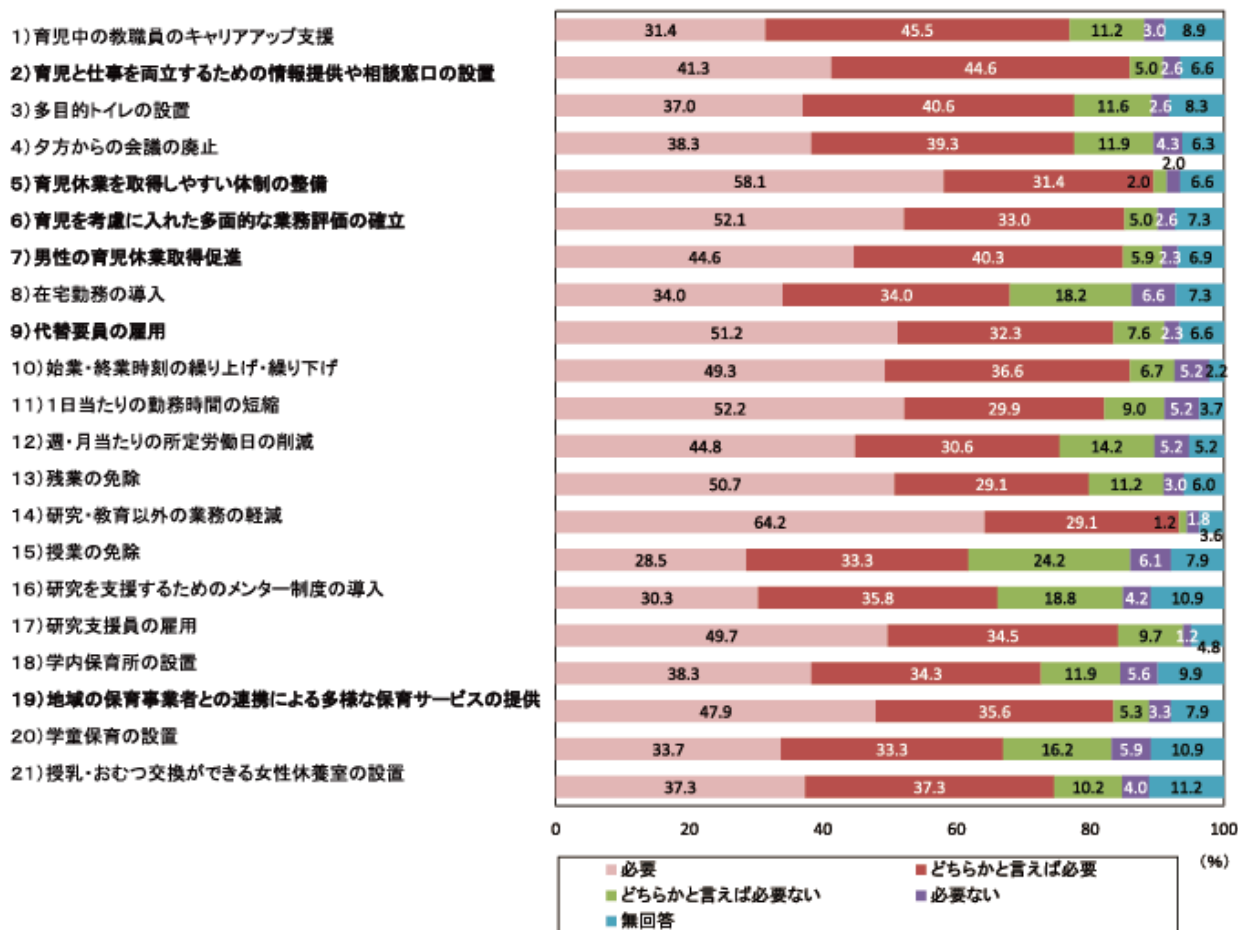


(2) 妊娠・出産・育児支援について

妊娠・出産・育児に関する望ましい支援としては、「育児休業を取得しやすい体制の整備」、「育児を考慮に入れた多面的な業務評価の確立」、「代替要員の雇用」、「地域の保育事業者との連携による多様な保育サービスの提供」、「男性の育児休業取得促進」、「育児と仕事を両立するための情報提供や相談窓口の設置」と回答した人が多くなっています。

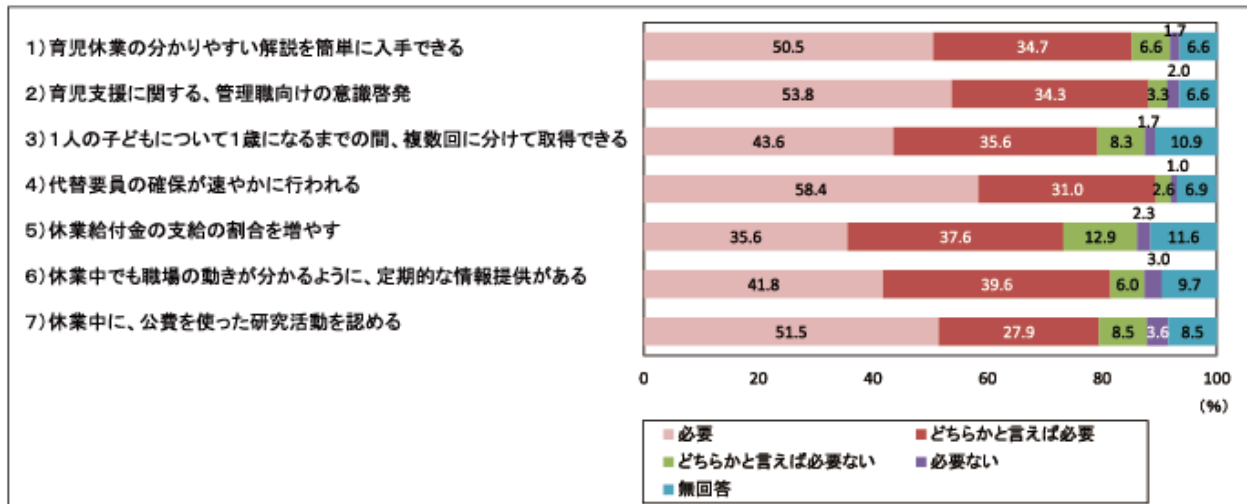
また、職員向けでは、職員の 85.9%が「始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ」を、教員向けでは、教員の 93.9%が「研究・教育以外の業務の軽減」を、それぞれ「必要」もしくは「どちらかと言えば必要」と回答しています。

図3 妊娠・出産・育児に関する望ましい支援 (n=303)
【n=303、ただし、10～13)は職員のみ (n=134)、14～17)は教員のみ (n=165)】



育児休業制度を利用しやすくするために必要な対策としては、「代替要員の確保が速やかに行われる」「育児支援に関する、管理職向けの意識啓発」が多く、特に女性で必要との回答が多くなっています。

図4 育児休業制度対策 (n=303)
【n=303、ただし、6)は職員のみ (n=134)、7)は教員のみ (n=165)】



学内保育所の整備については、全体の72.6%が「必要」もしくは「どちらかと言えば必要」と回答しています。設置の形態については、「東京都の認可保育所の一つとして、通常の認可保育所と同じ保育料で、本学の教職員、学生の優先枠をつけるのがよい」との声が多くなっています。また、望むサービスについては、「必要な時に利用する一時保育」、「常時保育」、「病児・病後児保育」、「長時間保育」との回答が多くなっています。

図5 望ましい保育所 (n=303)

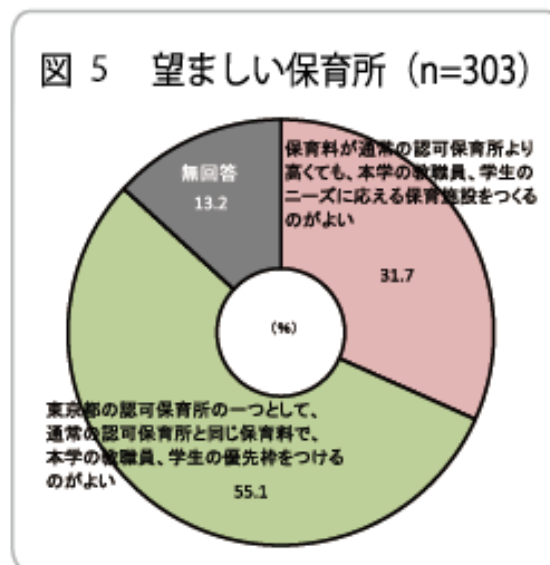
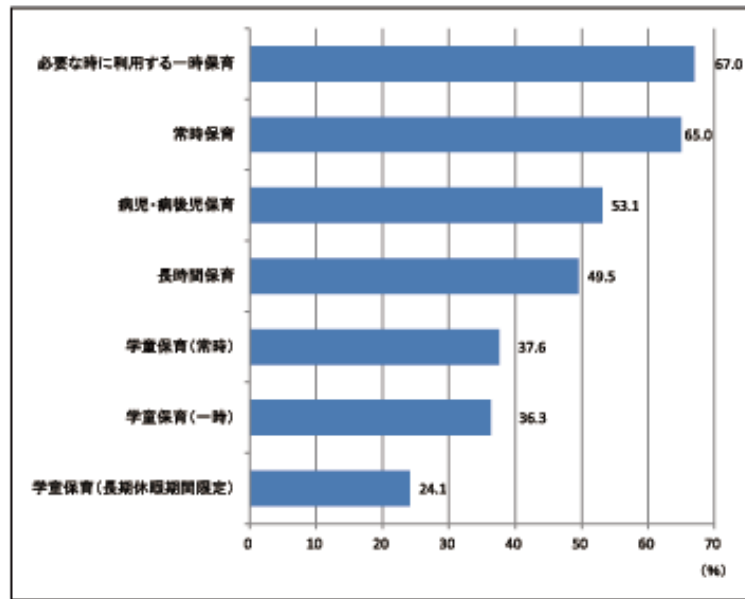
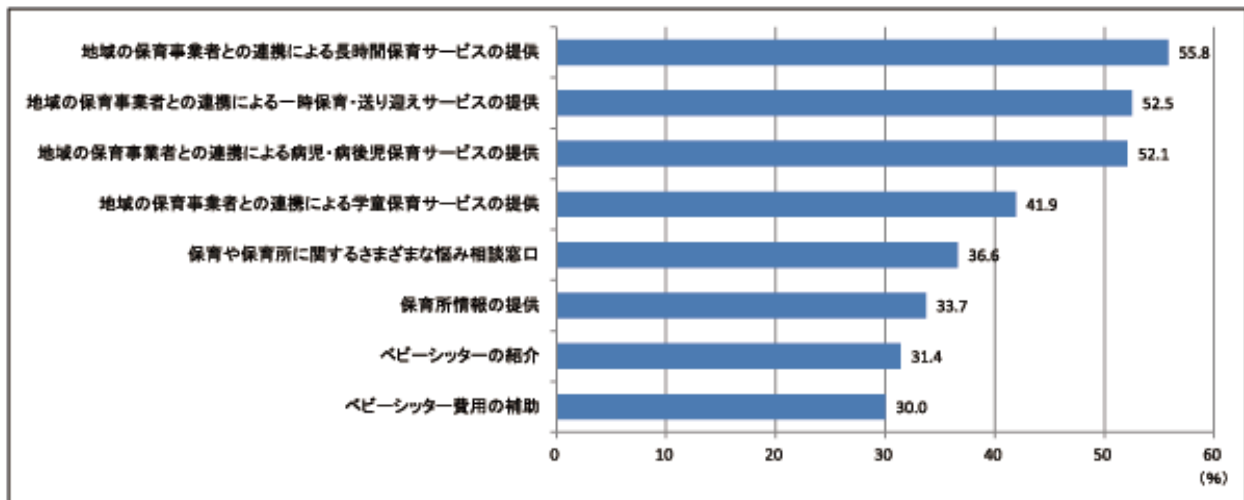


図 6 学内保育所のサービス (n=303、複数回答可)



学内保育所以外のサービスについては、「地域の保育事業者との連携による長時間保育サービスの提供」、「地域の保育事業者との連携による一時保育・送り迎えサービスの提供」、「地域の保育事業者との連携による病児・病後児保育サービスの提供」を望む声が多くなっています。

図 7 学内保育所以外のサービス (n=303、複数回答可)

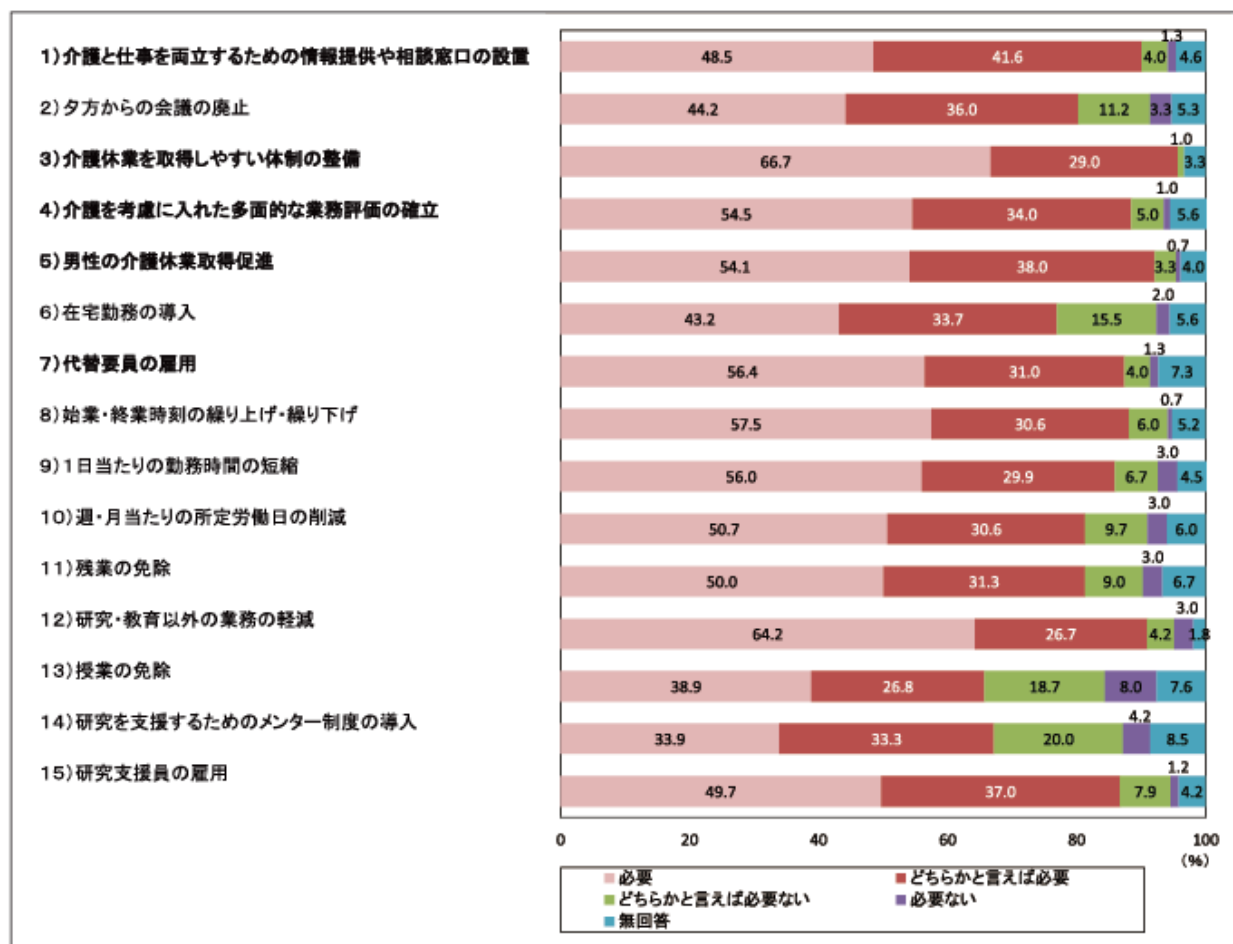


(3) 介護支援について

「介護をしたことがない」と回答した人が約8割でしたが、介護に関する望ましい支援としては、「介護休業を取得しやすい体制の整備」、「代替要員の雇用」、「介護を考慮に入れた多面的な業務評価の確立」、「男性の介護休業取得促進」、「介護と仕事を両立するための情報提供や相談窓口の設置」と回答した人が多くなっています。

また、妊娠・出産・育児支援と同様、職員向けでは、職員の88.1%が「始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ」を、教員向けでは、教員の90.9%が「研究・教育以外の業務の軽減」を、それぞれ「必要」もしくは「どちらかと言えば必要」と回答しています。

図8 介護に関する望ましい支援 (n=303)
 【n=303、ただし、8)～11)は職員のみ (n=134)、12)～15)は教員のみ (n=165)】



介護休業制度を利用しやすくするために必要な対策としては、育児休業制度と同様、「代替要員の確保が速やかに行われる」で「必要」が約6割と最も多く、女性は70.3%にのぼっています。「必要」「どちらかと言えば必要」の合計では、「介護休業の分かりやすい解説を簡単に入手できる」が最も多く、9割を超えています。

図9 介護休業制度対策 (n=303)
【n=303、ただし、7)は職員のみ (n=134)、8)は教員のみ (n=165)】

